

## 鶴舞の附属図書館の歴史 — 医学部分館の設置まで —

名大では、中央図書館のほか、部局にも「図書室」がありますが、医学系研究科だけは特に医学部「分館」が置かれ、同研究科教授が分館長を務めています。今年(2023年)は、分館が設置されて50年目にあたります。

名大の図書館で、その系譜において最も古い歴史を持つのは医学部の図書館です。医学部の前身学校では、図書館の整備は同窓会(のち校友会、学友会)が担ってきましたが、1930(昭和5)年度末に愛知医科大学が初めて公式の図書館を新築し、大学の官立移管後は官制上の組織である名古屋医科大学附属図書館となります。

名医大附属図書館は、1939年に名古屋帝国大学が創立されると、その附属図書館の医学部分室となりました。本館は東山に寄附による建設が予定されていましたが戦争で頓挫し、医学部事務棟の一角に当面の事務室が置かれたものの、空襲でその事務棟が全焼してしまいました。しかし耐火建築であった医学部分室は無事でした。

その後、本館は名城キャンパスに置かれていましたが、使われたのは明治期に建設の旧陸軍兵舎であり、名大で最も立派な建物の図書館は医学部分室という時代が続きます。ようやく1964年、念願の本館(中央図書館)が古川図書館(現博物館)として建設寄附されました。

そのようななか医学部学友会では、最も古い前身学校の設置から100周年(1971年)の記念事業として、狭隘化・老朽化した分室に代わる図書館を新築するために寄附を募ることになりました。大学もこれに応じ、文部省との折衝を経て、1971年3月、地下1階・地上4階建ての現在の医学部分館が、総工費約2億円(うち学友会拠出金8,000万円)で竣工したのです。

ただ、この頃文部省が図書館分館設置基準の改正準備中であったため、学内組織上は分室にとどめられました。医学部分館が正式に設置されたのは、1973年4月のことです。



- 1914(大正3)年に愛知県立医学専門学校が鶴舞へ移転した際、校友会が構内の建物を借用して開館した図書館の閲覧室。
- 名古屋医科大学附属図書館(中央)。鉄筋コンクリート3階建てで、3階には講堂を備えていた。1960年に豊田講堂ができるまでは、卒業式等はここで行われた。現在の名大病院西病棟の位置にあり、1972年に取り壊された。
- 名古屋医科大学附属図書館内部の様子。
- 1974年の医学部分館(東側から撮影)。2~4階が図書館で、1階には現在のように食堂などがあった。当初の外装はコンクリート打ち放しであった。
- 1971年の竣工当時の2階単行本閲覧室。

BRIEF HISTORY OF NAGOYA UNIVERSITY

名古屋大学の卒業生、  
現役・退職後の教職員の方々へ

名大史をつむぐ資料を  
大学文書資料室に!



### ■ 在学時の配布物

(学生便覧、シラバス、試験問題、課外活動の資料…)

### ■ 教育・研究活動、大学・部局運営に関する資料

(各種書類、会議のメモ、備忘録、スクラップ記事、写真…)

### ■ 校費による印刷物・刊行物

(冊子、パンフレット、ポスター…)

### ■ ご退職関係の記念冊子・記念論集・業績集… など

※その他、ご処分予定の資料についても、まずは下記へご一報ください。

東海国立大学機構大学文書資料室

TEL 052-789-2046  
Mail nua\_office@cc.nagoya-u.ac.jp